第54期 中間株主通信

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

p.01 トップメッセージ 髙見澤 和夫

p.03 主要製品の概況

p.04 トピックス

TOPICS 1 「鉄道技術展・大阪」に出展しました。

TOPICS 2 太陽光パネルを設置しました。

p.05 中間連結財務諸表

p.06 会社の概要

株式の状況 / 役員の状況

株式会社高見沢サイバネティックス

証券コード：6424

世の中に必要不可欠な会社を目指して

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第54期中間（2022年４月1日から2022年9月30日まで）営業の概況及び決算の諸事項につき、次のとおりご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進むなか、緩やかに持ち直しの動きが見られるものの、原材料価格の高騰や部材調達の遅れ、為替市場における急速な円安進行など、依然として不透明な状況が続きました。

この様な経済環境のもと、当連結グループは、交通システム機器、メカトロ機器、特機システム機器の各部門において営業活動を展開してまいりました。その結果、受注活動につきましては

代表取締役社長

高見澤和夫

順調に推移しておりますが、売上高につきましては、メカトロ機器部門において、国内向け硬貨処理装置の売り上げが増加したものの、前第２四半期連結累計期間の売上高にホームドアの大口案件が含まれていたこと、また、特機システム機器の一部製品の部材調達が滞り、第３四半期以降に繰り延べになったこと等により、41億２千万円（前年同期比8.0%減）となりました。

損益面につきましては、主に原価率の低い交通システム機器の改造案件の前倒しや、経費の圧縮に努めたことなどにより、営業利益２千3百万円（前年同期は１億３千１百万円の損失）、経常利益１千６百万円(同１億４千６百万円の損失)、親会社株主に帰属する中間純損失１千万円（同１億５千９百万円の損失）となりました。

当社グループは、経営理念として「世の中に必要不可欠な会社」を目指すことを掲げております。この創業以来変わらぬ思いを胸に、社会インフラの分野で私たちの生活に必要不可欠な製品・システムを提供するとともに、SDGsが掲げる持続可能な社会に向けた取り組みを推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

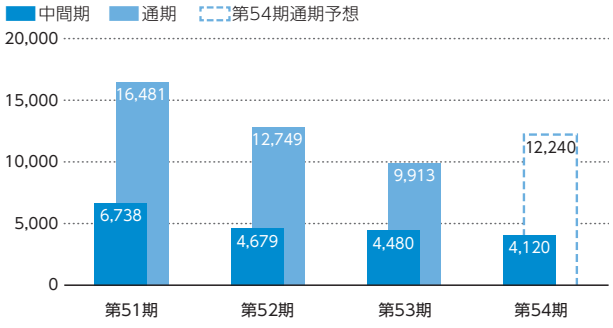
2022年12月

連結業績ハイライト

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

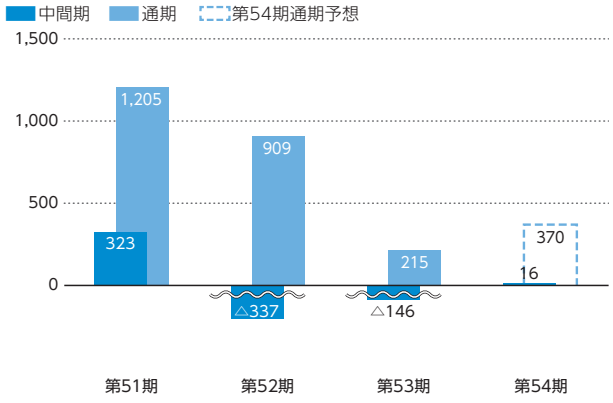
売上高

（単位：百万円）



経常利益

（単位：百万円）



交通システム機器（交通事業者様向け機器）

交通システム機器部門では、交通事業者様向け乗車券自動券売機・自動精算機・ICカードチャージ機等の「出改札関連機器」、扉が横方向にスライドして開閉するタイプの可動式ホームドアや、３本のバーが上下方向に動いて開閉するタイプの昇降バー式ホーム柵等の「ホームドアシステム」を開発・製造・販売しております。

当中間事業年度におきましては、自動券売機等の出改札関連機器が堅調に推移しましたが、前中間事業年度の売上高にホームドアの大口案件の売り上げが含まれていたことにより、売上高は14億3千2百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

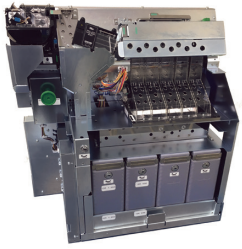
自動券売機
（名古屋鉄道㈱様）

ホームドア
（小田急電鉄㈱様新宿駅）

メカトロ機器（装置メーカー様向け機器）

メカトロ機器部門では、当社独自のコア技術であるTicket：チケット、Bill：紙幣、Coin：硬貨、Card：カード処理技術を応用したユニット製品を開発・製造し、金融機関向けATMや駐車場の精算機等を製造する国内外の装置メーカーに販売しております。

当中間事業年度におきましては、海外向けユニット製品の売り上げは減少しましたが、国内向け硬貨処理装置の売り上げが増加したことにより、売上高は12億９千３百万円（同9.1%増）となりました。



グローバルコインユニット

特機システム機器（一般市場向け機器）

特機システム機器部門では、セキュリティシステム・防災計測システム・パーキングシステムを開発・製造・販売しております。

セキュリティシステムでは、オフィスや工場などのセキュリティゲートを主力製品としています。また、レジャー施設などで、入場券発売機などの機器とセキュリティゲートを組み合わせて来場者管理を行なう「入退場管理システム」も扱っております。

防災計測システムでは、特定の場所に備え付けて震度を計測する「設置型地震計」、レスキュー隊が地震被災地に持ち込み、余震による二次被害を防止する「可搬型早期警報地震計」、列車やエレベーターなどの運行システムと連携し、大きな揺れが到達する前に機器の動きを停止させ、被害の軽減に役立つ「早期地震警報システム」を扱っております。

静脈認証対応セキュリティゲート
（富士通㈱様　JR川崎タワー）

パーキングシステムでは、駐輪場管理システムの製品として、電磁ラック式駐輪システム、ゲート式駐輪システム、また自動精算機等を扱っております。また、グループ会社である㈱高見沢サービスにおきましては、駐輪場管理業務を行っております。

当中間事業年度におきましては、一部製品の部材調達が滞り、第３四半期以降に売り上げが繰り延べになったこと等により、売上高は４億９千万円（同35.9%減）となりました。

ゲート式駐輪場管理システム

TOPICS

01 「鉄道技術展・大阪」に出展しました。

2022年5月25～27日にインテックス大阪で開催された「鉄道技術展・大阪」に出展しました。当社ブースでは、当社の要素技術を応用した製品として「昇降バー式ホーム柵」「４枚扉セキュリティゲート」「簡易改札装置」「非接触タッチパネル券売機」を展示し、多くの方にご来場いただきました。

02 太陽光パネルを設置しました。

長野第三工場棟の屋根の一部に太陽光パネルを設置し、2022年8月より本格稼働を始めました。これにより使用電力の23%を賄い、年間115トンのCO_2削減を見込んでおります。当社グループでは、SDGsに積極的に取り組んでまいります。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度	当中間連結会計期間
(資産の部)		
流動資産	9,562	8,292
現金及び預金	3,143	2,130
受取手形、売掛金及び契約資産	4,217	3,184
棚卸資産	2,024	2,751
その他	176	227
固定資産	4,486	4,329
有形固定資産	2,805	2,655
無形固定資産	57	47
投資その他の資産	1,623	1,627
資産合計	14,048	12,622
(負債の部)		
流動負債	7,124	5,912
支払手形及び買掛金	1,609	1,756
短期借入金	4,420	3,310
その他	1,095	846
固定負債	3,105	2,943
負債合計	10,230	8,856
(純資産の部)		
株主資本	3,581	3,517
資本金	700	700
資本剰余金	722	722
利益剰余金	2,254	2,191
自己株式	△96	△96
その他の包括利益累計額	237	248
純資産合計	3,818	3,766
負債・純資産合計	14,048	12,622

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
売上高	4,480	4,120
売上原価	3,385	2,902
売上総利益	1,094	1,218
販売費及び一般管理費	1,225	1,195
営業利益又は損失(△)	△131	23
営業外収益	17	24
営業外費用	32	31
経常利益又は損失(△)	△146	16
特別損失	7	0
税金等調整前中間純利益又は損失(△)	△153	15
法人税、住民税及び事業税	0	12
法人税等調整額	5	13
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△159	△10

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	966	330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,363	△1,331
現金及び現金同等物の増減額	△471	△1,013
現金及び現金同等物の期首残高	3,052	3,143
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,580	2,130

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。https://www.tacy.co.jp/

会社の概要（2022年９月30日現在）

会社の概要

商　　号	株式会社高見沢サイバネティックス
英文商号	TAKAMISAWA CYBERNETICS COMPANY,LTD.
設　　立	1969年10月１日
資 本 金	700,700,000円
従 業 員	414名（単体）577名（連結）

■主な事業内容

区分		主要製品
電子制御機器	交通システム機器	自動券売機、定期券自動発売機、自動精算機、ＩＣカード入金機、ＩＣカード発売機（駅務用）、券印刷発行機、ホストシステム、ホームドアシステム 他
	メカトロ機器	硬貨処理関連機器、紙幣処理関連機器、カード処理関連機器、発券処理関連機器、ＯＥＭ製品開発 他
	特機システム機器	パーキングシステム、セキュリティシステム、入退場管理システム、防災計測システム、コインゲート、カード発売機、オーブン温度試験槽、各種計測器 他

役員の状況

代表取締役社長	髙見澤　和　夫		
常務取締役	竹　田　一　雄		
常務取締役	花　岡　伸　一		
取締役	髙　橋　利　明		
取締役	下　里　雄　二		
取締役	藤　曲　宏　弥		
取締役	上　原　良　房		
取締役	朝　日　秀　彦	社外取締役	
取締役	渡　部　広　史	社外取締役	独立役員
常勤監査役	篠　﨑　倫　夫		
常勤監査役	田　中　　寛		
監査役	田　中　　勝	社外監査役	
監査役	笹　木　慈　夫	社外監査役	独立役員

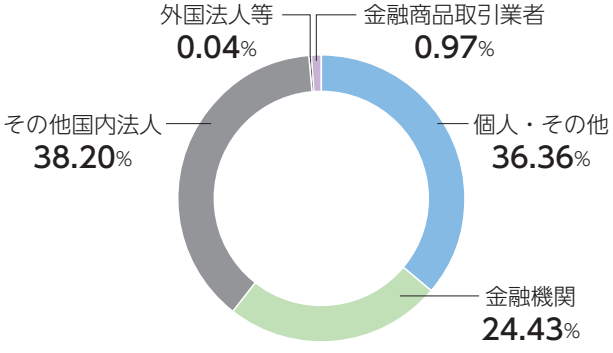
株式の状況

- 発行可能株式総数　14,800,000株
- 発行済株式の総数　4,525,000株
- 株主数　1,844名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
富士電機株式会社	618千株	14.06％
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託富士電機口 再信託受託者株式会社日本カストディ銀行	519	11.81
富士通株式会社	416	9.47
富士通フロンテック株式会社	250	5.68
高見沢サイバネティックス従業員持株会	236	5.37
ＩＤＥＣ株式会社	222	5.06
株式会社みずほ銀行	175	3.98
髙見澤和夫	168	3.84
株式会社三菱ＵＦＪ銀行	100	2.27
株式会社常陽銀行	100	2.27
レシップホールディングス株式会社	100	2.27

(注)1.「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口再信託受託者株式会社日本カストディ銀行」名義の株式519千株は富士電機株式会社が保有する当社株式を退職給付信託として信託設定したものであり、議決権については、富士電機株式会社が指図権を留保しております。
2. 当社は、自己株式を126,396株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

- 所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当　毎年３月31日 中間配当を行う場合　毎年９月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 （電話照会先）	〒168－0063 東京都杉並区和泉二丁目８番４号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120－782－031 （フリーダイヤル）
公告方法	電子公告 当社は公告を下記ホームページに掲載しております。 https://www.tacy.co.jp

お知らせ

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
なお、お手続きの方法やよくあるご質問は、「よくあるご質問（FAQ）」サイトでご確認いただけます。

よくあるご質問（FAQ）

https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

高見沢サイバネティックス　検索

高見沢グループの製品・サービス、最新ニュース、決算情報の詳細など、
株主・投資家の皆様に役立つ情報がご覧いただけます。ぜひご利用ください。

トップページ　https://www.tacy.co.jp

YouTube　https://www.youtube.com/@tacy_6424

株式会社 高見沢サイバネティックス
〒164-0011 東京都中野区中央2-48-5
TEL：03-3227-3361（代表）

UD FONT

VEGETABLE OIL INK

本冊子は環境保全のため植物性インキで印刷しています。